

## 第2回 2025 年に開催する国際博覧会関係閣僚会議 議事概要

日 時: 令和元年12月20日(金) 9:00~9:10

場 所: 官邸2階小ホール

出席者: 菅内閣官房長官、麻生財務大臣、高市総務大臣、赤羽国土交通大臣、橋本国務大臣、衛藤国務大臣、竹本国務大臣、加藤厚生労働大臣、梶山経済産業大臣、北村国務大臣、武田国務大臣、西村国務大臣、森法務大臣、萩生田文部科学大臣、西村官房副長官、伊東農林水産副大臣、佐藤環境副大臣、横山復興副大臣、渡辺防衛大臣政務官、杉田内閣官房副長官、古谷内閣官房副長官補、林内閣官房副長官補、藤木経済産業省商務・サービス審議官

○梶山経済産業大臣兼国際博覧会担当大臣より、2025年に開催する国際博覧会の登録申請書の博覧会国際事務局(BIE)への提出について説明。

- ・ 本閣僚会議の後の閣議に付される文書の内容は、第一に、政府は、2025年日本国際博覧会について、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、新たな技術やシステムを実証する「未来社会の実験場」とすべく、博覧会国際事務局に対し登録申請を行うこと、第二に、開催期間は、会場運営に万全を期す観点から、2025年4月13日(日曜日)から同年10月13日(月曜日)までとすること、第三に、政府は、国際博覧会に関する条約に基づき、開催国の義務を果たすために必要な措置を講ずること、の3点です。
- ・ 次に今後のスケジュールは、本登録申請について、御異議がなければこの後の閣議で閣議決定の上、年内に博覧会国際事務局に対して登録申請を行います。その後、来年6月開催予定のBIE総会において、登録申請の承認を目指します。登録申請が承認された後、来年10月から開催されるドバイ万博において、各国及び国際機関に対し、2025年日本国際博覧会への参加を呼び掛ける活動を本格化させます。
- ・ 関係閣僚の皆様におかれましては、2025年日本国際博覧会の成功に向けて、引き続き御協力をお願いします。

○赤羽国土交通大臣より発言。

- ・ 登録申請にあたりまして、国土交通省からは、万博会場へのアクセス確保について一言申し上げます。2025年の大阪・関西万博の開催に向けて、会場となる夢洲へのアクセス機能の確保が重要であり、大阪メトロ中央線の夢洲延伸等の取組を進めていくことが必要と考えております。
- ・ 具体的な計画については、大阪市を中心に検討が進められているものと認識しておりますが、国土交通省としても、財政投融资等を活用して支援を検討してまいります。引き続き、地元の検討状況を踏まえ、必要な取組を着実に進めてまいります。

○菅内閣官房長官より挨拶。

- ・ 本日の会議において、梶山経済産業大臣から、大阪・関西万博の博覧会国際事務局への登録申請について御説明があり、本関係閣僚会議として決定いたしました。本決定を、本日の閣議に付すことといたします。
- ・ 2025年の大阪・関西万博に向けて、日本全体を盛り上げ、世界中の人々に夢や驚きを与える万博を実現するため、開催までの残り5年あまり、政府全体として準備を加速していきたいと思っております。関係閣僚は一層連携して準備を進めるようお願い申し上げます。

○梶山経済産業大臣兼国際博覧会担当大臣より閉会の挨拶。

- ・ 登録申請書が来年6月のBIE総会で承認されると、いよいよ本格的に各国への参加招請を始めることになります。
- ・ 大阪・関西万博の成功に向けて引き続き、政府、地元自治体、経済界が一致団結したオールジャパンの体制で進めていきたいと思っておりますので、関係閣僚の御協力をよろしくお願いいたします。

以上